

【参考資料2】

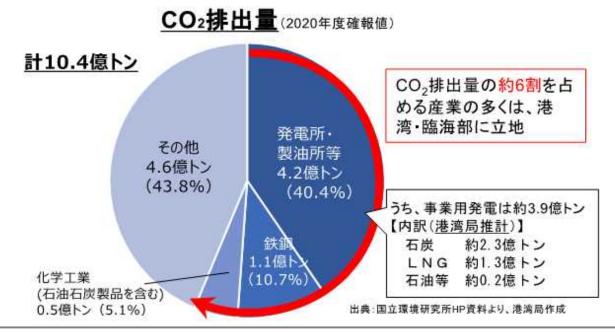
秋田県港湾脱炭素化推進計画の概要

令和5年8月24日 秋田県

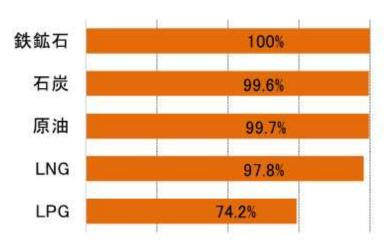


港湾脱炭素化推進計画策定に向けて

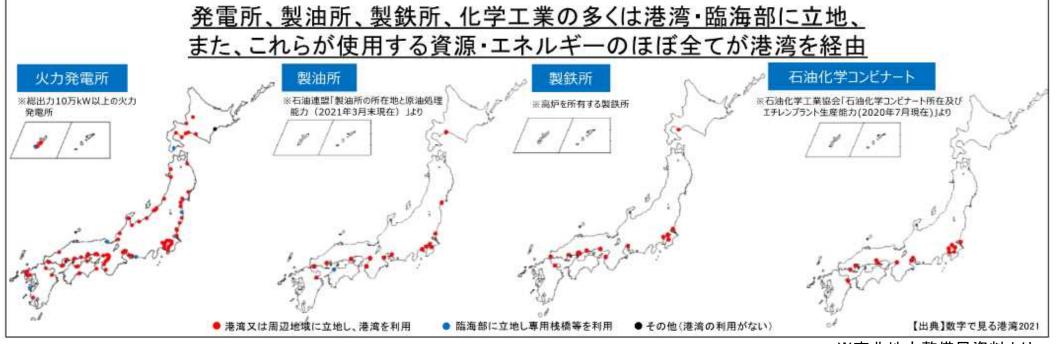




資源・エネルギーの輸入割合例



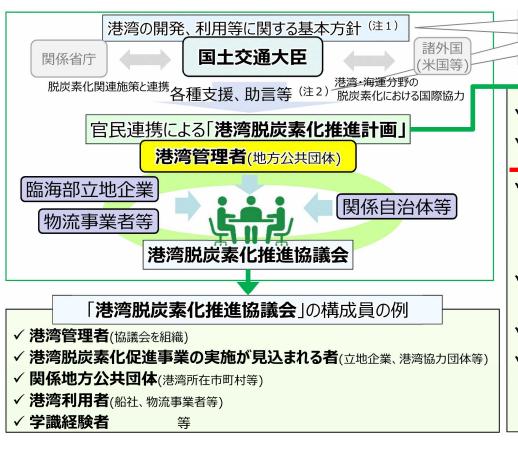
(出典)(公財)日本海事広報協会「日本の海運SHIPPINGNOW2021-2022」より作成



秋田県港湾脱炭素化推進計画策定に向けて



- 〇秋田県内の重要港湾である秋田港、船川港及び能代港について、国土交通省港湾局により示された「港湾脱炭素化推進計画」策定マニュアルを参照しつつ所要の検討を行い、港湾ごとの脱炭素化推進計画を策定することとする。
- ○港湾ごとの脱炭素化推進計画策定を基本とするが、各港連携の観点も視野に入れながら検討を進めることとする。
- 〇検討期間は、令和4年度及び令和5年度の2ヶ年とする。



(注1)港湾法改正を踏まえ、「脱炭素化の推進」を位置付け。 (注2)各種支援、助言等の一環としてマニュアルを公表。

(いずれも令和5年3月30日)

「港湾脱炭素化推進計画」に定める事項

- ✓基本的な方針(当該港湾の概要、取組方針等)
- ✓計画の目標
 - ・温室効果ガス排出量の削減目標や水素等の供給目標等

✓港湾脱炭素化促進事業·実施主体

- ・温室効果ガス削減、吸収作用の保全等に関する事業(低炭素型荷役機械の導入、ブルーカーボン生態系の活用等)
- ・水素等の供給に関する事業(水素等の供給のための港湾 施設等の整備、LNGバンカリング施設の整備等)

✓計画の達成状況の評価に関する事項

- ・評価の実施体制、方法、公表方法等
- ✓計画期間

✓その他港湾管理者が必要と認める事項

- ・港湾の脱炭素化に関する将来構想
- ・脱炭素化推進地区の方向性
- ・産業振興・地域活性化に関する取組 等

【令和4年度】

港湾及び臨海部に おける温室効果ガス 排出量の推計や、そ の削減目標及び削 減計画を設定する。

【令和5年度】

具体的な取り組みの検討やロードマップの作成などを行い、それらを取りまとめた港湾脱炭素化推進計画を策定する。

秋田県港湾脱炭素化推進協議会及び部会について



〇秋田県全体を俯瞰する「協議会」と、港湾ごとの特性を踏まえた意見交換を行う「部会」を設置し、検討を進めることと する。

秋田港部会 〇秋田港の役割 ・国際海上コンテナ取扱やフェリー輸送機能 ・クルーズ船受入による観光振興 洋上風力発電の基地港湾 秋田県 船川港部会 港湾脱炭素化 推進協議会 〇船川港の役割 男鹿地域の物流港 •国家石油備蓄基地 ・基地港湾を支援する港 能代港部会 〇能代港の役割 ・大規模な火力発電所が立地するエネルギー拠点

・洋上風力発電の基地港湾

協議会における検討内容及びスケジュール



令和4年度

第1回協議会 (R4.10.19)

- 協議会設置要綱
- ・秋田県のCNPに関連し た各部局講演

令和5年度

第2回協議会 (R5.5.23)

- 脱炭素化推進計画への ■ 移行
- CO2削減目標
- |• 2-2 | 温室効果ガス排出量の | 推計

第3回協議会(年内開催予定)

- 2-1 港湾脱炭素化推進 計画の目標(KPI)
- 2-3 温室効果ガス吸収量の 推計
- 2-4 温室効果ガス排出量の 削減目標
- 2-5 水素・アンモニア等の 需要推計及び供給目標
- ・(参考資料) 水素・アンモニア等の 供給等のために必要な 施設の規模・配置

第4回協議会

- ・3-1 温室効果ガス削減・ 吸収に関する事業
- ・3-2 港湾・臨海部の 脱炭素化に貢献する 事業
- •6-1 港湾における脱炭素化 の促進に資する将来の 構想
- •6-5 ロードマップ
- •港湾脱炭素化推進計画(案)